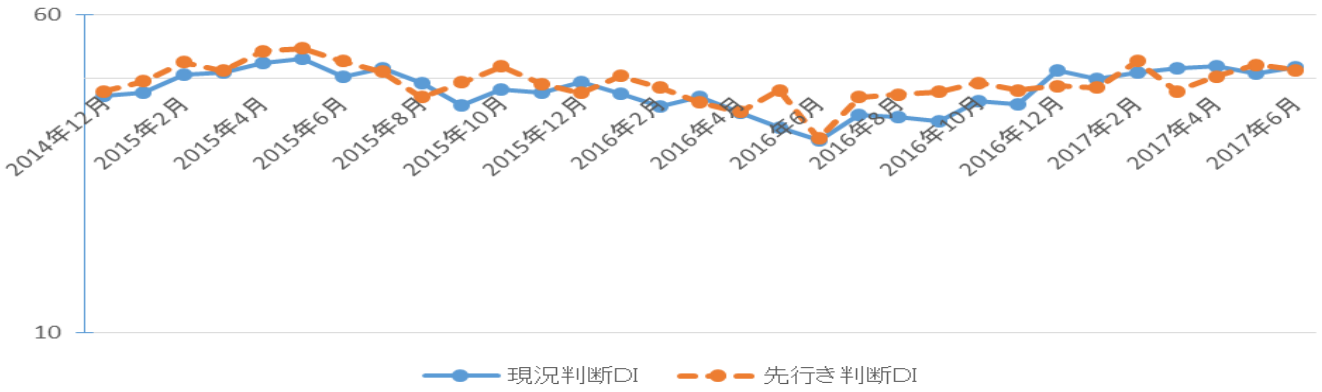


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2017年6月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計 動向 関連	やや良	《単価の動き》初夏並みの気候のおかげで、アイス、飲料水やスイカ等の販売量が売上を押し上げている。夏野菜も売行きが良く、節約志向は見受けられない。【スーパー（店員）】
		不変	《お客様の様子》新築の持家住宅や分譲マンションの需要は減少気味である。ただし、リフォームや大規模改修等の工事については増加傾向である。民間のビル需要や企業の設備投資については横ばいである。【住関連専門店（営業担当）】
		やや悪	《競争相手の様子》近隣競合店には客が入っているようにはみえず、前年同期比で90%を切っているという情報もある。自社でも1店舗が閉店となっている。【スーパー（企画・経営担当）】
	企業 動向 関連	やや良	《受注量や販売量の動き》業種にもよるが、非常に好調な部署があり過去にない数量の受注を受けている。この状況が少なくとも秋ごろまでは続く。【電気機械器具製造業（経営者）】
		不変	《受注量や販売量の動き》販売量は横ばいの状況である。販売価格は低いままで材料費が上がっているため、収益性は低くなっている。【金属製品製造業（経営者）】
		やや悪	《受注量や販売量の動き》最近5年間で最も落ち込みが激しい状況である。特別な理由はないが、客先の都合等による一時的な設備休止等で受注減が重なったため、在庫量が急速に増えつつあり危機感が出ている。【窯業・土石製品製造業（社員）】
	雇用 関連	やや良	《求人数の動き》派遣人材、中途採用人材共に、求人数が増加している。【人材派遣会社（営業担当）】
		不変	《採用者数の動き》人手不足感が拡大しており人材確保は容易ではなくなっている。限られた労働力で仕事をこなしているため、業績拡大や売上増加につながらない状態が続いている。【職業安定所（所長）】
		やや悪	《求人数の動き》例年でも、求人数は3か月前との比較で10%以上減少する時期ではあるが、改正労働者派遣法の影響等が出始めているためか、今年は2割以上の減少となっており、前年同月比でも下回っている。【人材派遣会社（支店長）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計 動向 関連	やや良	この夏は気温の大幅な上昇が予想されており、飲料やアイスクリーム等の販売増加が期待でき、来客数の増加も見込まれる。【コンビニ（商品開発担当）】
		不変	新築住宅、マンションは横ばいから減少傾向である。リフォームや改修工事は増加しており、民間企業の設備投資や商業施設についても、増加傾向にある。【住関連専門店（営業担当）】
		やや悪	身の回りの話でも、政策的な動きをみても、景気が良くなるような要因はないため、今後も景気の回復は期待できない。【設計事務所（職員）】
	企業 動向 関連	やや良	工事業者は大型の公共工事次第で状況が大きく変わる。近隣には予算的に余裕のない自治体が多いため、公共施設の延命対策が多い。建物の老朽化が進んでおり、案件は年々増えている。【会計事務所（職員）】
		不変	大型案件や増設の話がある一方、生産量の半減により設備投資を中止したり延期をする客もあり、まだまだ先行きは不透明な部分も多い。【一般機械器具製造業（営業担当）】
		やや悪	折込チラシ配布料の値上げの影響で、売上の増加よりも受注量の減少が大きい。【新聞販売店〔広告〕（店主）】
	雇用 関連	やや良	求人数が増え、求職者が選択をできる状況が続いているが、就業可能な人材は少なく、求人ニーズに対する供給が不足している。【民間職業紹介機関（窓口担当）】
		不変	管内及び隣接地域においては、大型倒産等の情報もなく経済面での大きな変化もない。人材確保についても、現状と同様の状況がしばらくは続く。【職業安定所（所長）】
やや悪		5月の新規求人倍率は1.99倍と高いが、4月からはわずかに減少している。新規求人数についても約2割減少している。【職業安定所（職員）】	